

電力技術研究所 原子力・材料グループ 原子力チーム

当チームは、原子力にかかわる基礎研究や原子力発電所の支援研究を担当しています。原子炉水化学研究、放射性廃棄物の処理・処分の技術開発、照射材の材料特性に関する研究、原子力発電所のより優れた保守・運用技術の開発などに取り組んでいます。原子力は広範な基礎技術を集積した総合技術ですから、全てをカバーすることはなかなか容易なことではありません。共通の課題については、他のチーム、メーカーや他電力と協力して取り組んでいます。



後列左から：熊野、吉村、辻、稲垣、羽田野
前列左から：新開、伊藤、西川リーダー、服部、渡辺

西川覚チームリーダー

原子力チームリーダーということで、7月からこちらにきています。原子力部門及び中央の情報が円滑に流れるように努めています。学生の頃から音楽に興味があっというやっていたましたが、今はもっぱら聞くことに専念しています。仕事が終わってからの歌も嫌いではありません。

服部昭教研究主査

好きであることから始まる。コーヒーを飲み始めて何年になるのだろう。コーヒーの中でも、水を一滴一滴落として出すダッチコーヒーの味が忘れられず、我が家で出す方法はないかと思案してしばらくたったある日。方法はあるもので、氷を使えば出来るということをお耳に挟み、早速実験を開始。確かにダッチコーヒーの味である。氷を入れて一晩おいておけば氷が勝手に溶けて、翌朝には旨いダッチコーヒーが出来上がっているのである。

吉村孝研究副主査

原子力発電所では放射線防護・放射線管理業務に携わっていました。その経験を活かして、放射性廃棄物の発生量低減技術や、放射線測定器の高度化技術に関する研究を担当しています。趣味はゴルフ、スキーなどのスポーツです。

稲垣博光研究員

H6に入社後、1年間の浜岡研修を経て、研究所に来て今年で6年目になります。これまで主に原子力発電所の水質管理に関わる分野の研究に携わってきました。現在、より専門性の高い研究を行うため、北陸先端科学技術大学院大学の博士課程にも在籍しつつ、日夜研究業務に励んでいます。

伊藤圭介研究主査

プラント支援分野の総括です。機械屋ですが、核融合から海の生物対策まで、さまざまな要求に対応すべく、幅広い知識と情報を得るよう努めています。趣味はゲームで、DQは から までみんなやっています。

辻建二研究副主査

浜岡4号機的设计や浜岡5号機の公開ヒアリング、また通産省関連機関への出向時には試験研究業務に携わってきました。現在は、保守・点検技術と高速炉を担当しています。北欧へオーロラを見に行きましたが、その神秘さに惹かれて再度旅する予定でいます。

新開徳行研究副主査

原子力発電所の計測・制御関係に携わっていましたが、昨年、研究所に配属されました。現在は、原子力発電所の保全合理化の研究を担当しています。趣味はピアノ、油絵で、ゴルフは練習中に頸椎を痛めて断念、将来の夢(リタイヤ後?)は海外で生活することです。

羽田野信行研究員

原子力、火力共通の話題となる海水系設備に関する研究を担当しています。かつては陸上の短距離もやっていたますが、最近では犬とともにジョッキングを行い体力低下を防ぐ日々です。趣味は推理ものに凝っています。(たとえば犯人とか、着順とか・・・)

熊野秀樹研究員

熊野(ゆや)と読みます。長崎県出身です。最近、熊野(ゆや)という能があるのを知り、「ゆや」は正しい読み方なのだ安心してました。現在は、原子炉材料の高経年化対策技術の研究を担当しています。趣味ですが、最近、卓球にはまっています。

渡辺将人研究員

信頼性重視保全(RCM)メンテナンヌ最適化、新型原子炉を担当する駆け出しの専門研究員です。浜岡原子力発電所での1年間の修行を経て平成十年に配属。テニスと陸上(駅伝&100m走)に加え、最近、「ピンポン球の軌道計算」の研究も昼休みと夕方にやっています。なお、現在、花嫁募集中です。